



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 1 月 28 日

上場会社名 **新光商事株式会社**

（コード番号： 8141 東証第一部）

（URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 北井 暁夫

T E L : (03) 5721 - 2111

責任者役職・氏名 取締役経理部長 蜂谷 訓平

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）税金費用の計算

税金費用は簡便法により計算し、未払法人税等に計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	83,803	9.3	1,759	74.9	1,893	101.4	1,191	103.8
16 年 3 月期第 3 四半期	76,690	-	1,005	-	940	-	584	-
（参考）16 年 3 月期	116,429		2,106		2,026		960	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	51 84	-
16 年 3 月期第 3 四半期	25 41	-
（参考）16 年 3 月期	41 12	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における当社グループを取り巻く環境は、当中間期までは個人消費も比較的堅調に推移し、企業収益の改善等で回復軌道に乗っていましたが、以降エレクトロニクス業界において前半の好調から反転し、現在生産調整局面を向かえております。

当社グループの業績は、国内においては中間期以降 P C 周辺機器向けの集積回路及び中国市場向け携帯端末用集積回路の生産調整による影響があったものの、自動車電装向け・産業機器向けは堅調に推移いたしました。また、海外においては概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、当社グループの連結業績は、売上高 838 億 3 百万円（前年同期比 9.3% 増）、営業利益 17 億 59 百万円（前年同期比 74.9% 増）、経常利益 18 億 93 百万円（前年同期比 101.4% 増）、四半期純利益 11 億 91 百万円（前年同期比 103.8% 増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	55,891	34,193	61.2	1,487 62
16 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）16 年 3 月期	62,441	33,415	53.5	1,452 48

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	1,640	84	1,389	5,490
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	3,486	103	1,133	5,152

(注) 当該四半期より四半期財政状態(連結)の変動状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は54億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億37百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は16億40百万円の獲得となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益19億26百万円、売上債権の減少額81億95百万円等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額18億94百万円、仕入債務の減少額53億92百万円及び法人税等の支払額12億73百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は84百万円の獲得となりました。主なプラス要因は、その他投資資産の売却・解約による収入2億36百万円等であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出84百万円、無形固定資産の取得による支出47百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は13億89百万円の支出となりました。主なプラス要因は、短期借入による収入55億21百万円、長期借入による収入8億円等であり、主なマイナス要因は、短期借入金の返済による支出70億58百万円、長期借入金の返済による支出3億円、配当金の支払額3億45百万円等であります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、四半期連結剰余金計算書、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以上

【参考】

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	120,000	3,000	1,800	78 30

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しておりますが、実際の業績は、業況の変化などにより、大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

[業績予想に関する定性的情報等]

エレクトロニクス業界は、デジタル景気の一巡や海外生産の進展、価格の下落等により、生産調整局面を迎えております。当社グループを取り巻く環境においては、PC周辺機器向け、携帯端末向け集積回路の売上ににつきましては、今年度一杯厳しい状況が続くものと予測しておりますが、一方自動車電装向けは堅調であり、また年度末に向け娯楽機器向けに売上が伸びる見込みとなっております。

平成17年3月期の業績予想につきましては、現在のところ、前回発表(平成16年11月15日)の通期の業績予想に変更はございません。

添付資料

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
1.現金及び預金	5,490	5,152
2.受取手形及び売掛金	28,197	36,635
3.たな卸資産	9,902	8,008
4.未収入金	4,971	4,924
5.その他	414	498
貸倒引当金	91	186
流動資産合計	48,884	55,031
固定資産		
1.有形固定資産	3,129	3,187
2.無形固定資産	284	509
3.投資その他の資産		
(1)投資有価証券	2,202	2,327
(2)その他	1,559	1,470
貸倒引当金	170	85
投資その他の資産合計	3,592	3,713
固定資産合計	7,006	7,409
資産合計	55,891	62,441
(負債の部)		
流動負債		
1.支払手形及び買掛金	16,101	21,494
2.短期借入金	3,120	4,447
3.その他	898	1,747
流動負債合計	20,119	27,689
固定負債		
1.長期借入金	400	100
2.再評価に係る繰延税金負債	208	208
3.退職給付引当金	706	670
4.役員退職慰労引当金	123	153
5.その他	140	204
固定負債合計	1,578	1,336
負債合計	21,698	29,025
(少数株主持分)		
少数株主分	-	-
(資本の部)		
資本金	7,336	7,336
資本剰余金	7,434	7,434
利益剰余金	18,921	18,089
土地再評価差額金	303	303
その他有価証券評価差額金	518	561
為替換算調整勘定	285	283
自己株式	35	27
資本合計	34,193	33,415
負債、少数株主持分 及び資本の合計	55,891	62,441

2 .(要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額
売上高	83,803	116,429
売上原価	76,226	106,555
売上総利益	7,576	9,873
販売費及び一般管理費	5,817	7,767
営業利益	1,759	2,106
営業外収益	173	69
1. 受取利息	9	15
2. 受取配当金	17	16
3. 商圏譲渡益	100	-
4. 雑収入	46	37
営業外費用	39	148
1. 支払利息	24	44
2. 為替差損	-	89
3. 雑支出	14	15
経常利益	1,893	2,026
特別利益	97	22
1. 貸倒引当金戻入	97	1
2. 投資有価証券売却益	-	20
3. その他	-	0
特別損失	65	196
1. 固定資産売却・除却損	3	16
2. 特別退職金	-	10
3. 投資有価証券評価損	56	-
4. 退職給付制度改定損失	-	76
5. 為替差損	-	65
6. その他	4	27
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,926	1,852
税金費用	734	891
四半期(当期)純利益	1,191	960

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額		金 額	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		7,434		7,434
資本剰余金増加高				
1. 自己株式処分差益	0	0	0	0
資本剰余金期末残高		7,434		7,434
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		18,089		17,405
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	1,191	1,191	960	960
利益剰余金減少高				
1. 配当金	344		276	
2. 役員賞与金	15	359	-	276
利益剰余金期末残高		18,921		18,089

4.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,926	1,852
減価償却費	381	528
退職給付引当金の増減額	35	441
役員退職慰労引当金の減少額	29	20
貸倒引当金の増減額	10	10
受取利息及び受取配当金	26	31
支払利息	24	44
有形固定資産売却・除却損	3	16
投資有価証券評価損	56	-
投資有価証券売却益	-	20
売上債権の減少額	8,195	1,749
未収入金の増減額	63	2,044
たな卸資産の増減額	1,894	119
仕入債務の増減額	5,392	2,006
未払消費税等の増減額	46	52
その他の資産及び負債の増減額	169	5
役員賞与の支払額	15	-
その他非資金取引	200	52
小計	2,900	3,868
利息及び配当金の受取額	32	34
利息の支払額	19	42
法人税等の支払額	1,273	374
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,640	3,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	6	11
投資有価証券の売却による収入	0	36
有形固定資産の取得による支出	84	60
有形固定資産の売却による収入	-	38
無形固定資産の取得による支出	47	82
貸付による支出	-	0
貸付金の回収による収入	3	4
その他投資資産の取得による支出	16	41
その他投資資産の売却・解約による収入	236	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	84	103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,521	10,154
短期借入金の返済による支出	7,058	10,684
長期借入れによる収入	800	-
長期借入金の返済による支出	300	320
自己株式の取得による支出	8	7
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	345	276
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,389	1,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	270
現金及び現金同等物の増加額	337	2,185
現金及び現金同等物の期首残高	5,152	2,966
現金及び現金同等物の期末残高	5,490	5,152